# 【３月の保育】

## 年少うさぎ組

学級のみんなで劇遊びをしたり、歌や合奏をしたりする中で、自分なりにのびのびと表現する楽しさや、周りの友達と同じ動きや声がそろう嬉しさを味わってきました。年少児なりに、学級のみんなの気持ちがつながる楽しさを少しずつ感じられるようになっています。

３月は、うさぎ組で楽しかったことやできるようになったことを振り返りながら、大きくなったことを喜び、自信につなげていきます。残りの生活でもくま組やぞう組と交流する機会をもち、一緒に遊ぶ中で「うれしいな。」「あんなふうになりたいな。」というお兄さん、お姉さんへの憧れの気持ちが、進級への期待感につながるようにします。

## 年中くま組

やりたい遊びを見つけると「こうするのはどうかな？」「もっとこうしたらいいかな？」と考えたり、実際にやってみたりしながら、自分で遊びを進めることを楽しんでいます。やりたいことが実現でき、「子供園で遊ぶの大好き！」という喜びや満足感がもてるようにします。

あと１か月でいよいよ年長組になります。お休み調べや誕生会の司会など、ぞう組のお兄さん、お姉さんから優しく教えてもらい「今度は自分たちがやるんだ！」と張り切って取り組んでいます。

日々の生活の中で、できるようになってきたことや頑張っていることなどを言葉にして伝えながら、子どもたち一人ひとりが自信をもち、進級への期待をもって生活を進められるようにしていきます。

## 年長ぞう組

音楽会の取組を通して、友達の音や声を聴きながら、みんなの気持ちが揃い、音が合う心地よさを体感してきました。友達と助け合いながら、遊びも生活も自分たちでどんどん進めています。

ぞう組で過ごすのも残り１ヶ月。帰りの会では、毎日「みんなで遊べるのは、あと○日。」と子供園に来る日数を確認しています。小学校へ行く期待感、ぞう組の仲間と離れる寂しさを感じているようです。

残りの日々も子供園でたっぷり遊び、大きくなったことや良さを認め合いながら、２２名一人ひとりが仲間と過ごすことを嬉しく、楽しく思えるようにします。そして、いろいろなことに挑戦する姿を最後まで支え、自信をもって小学校へ向かえるようにしていきます。

また、大きくなるためにたくさんの人が支えてきてくれたことを実感し、お世話になった方に感謝の気持ちを伝えられるようにします。